

相談実績

1 年度別相談実績

(単位:件)

H19年度 (9月~)	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	累計
572 (81)	1,410 (117)	2,007 (167)	2,107 (175)	2,111 (175)	2,116 (176)	2,491 (207)	3,061 (255)	4,186 (348)	20,061

(注)下段()は1月あたりの件数

(平成27年度月別相談実績)

(単位:件)

H27年度												(4月~3月)	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
280	307	225	276	278	322	269	426	431	443	445	484	4,186	
							うち従来分	343	349	365	355	366	3,735
							うち拡充分	83	82	78	90	118	451

→ 11月から受付時間延長

○平成27年度の相談件数は、11月から受付時間を延長したことなどにより、前年度同期間と比べて約37%増であった。

○従来の時間帯の相談件数は、前年度同期間と比べて約22%増であった。

2 1日当たりの相談件数

(単位:件)

年度	平日			休日等		
	相談件数	日数	1日あたり	相談件数	日数	1日あたり
H19年度(9月~)	205	138	1.49	367	75	4.89
H20年度	577	243	2.37	833	122	6.83
H21年度	740	242	3.06	1,267	123	10.30
H22年度	773	243	3.18	1,334	122	10.93
H23年度	823	244	3.37	1,288	122	10.56
H24年度	832	245	3.40	1,284	120	10.70
H25年度	923	244	3.78	1,568	121	12.96
H26年度	1,105	244	4.53	1,956	121	16.17
H27年度	1,610	243	6.63	2,576	123	20.94
	(従来分)	1,381	243	2,354	123	19.14
	(拡充分)	229	99	222	53	4.19

○1日当たりの相談件数を前年度と比較すると、特に休日等の件数が伸びている。

3 圏域別相談件数(平成25年度以降)

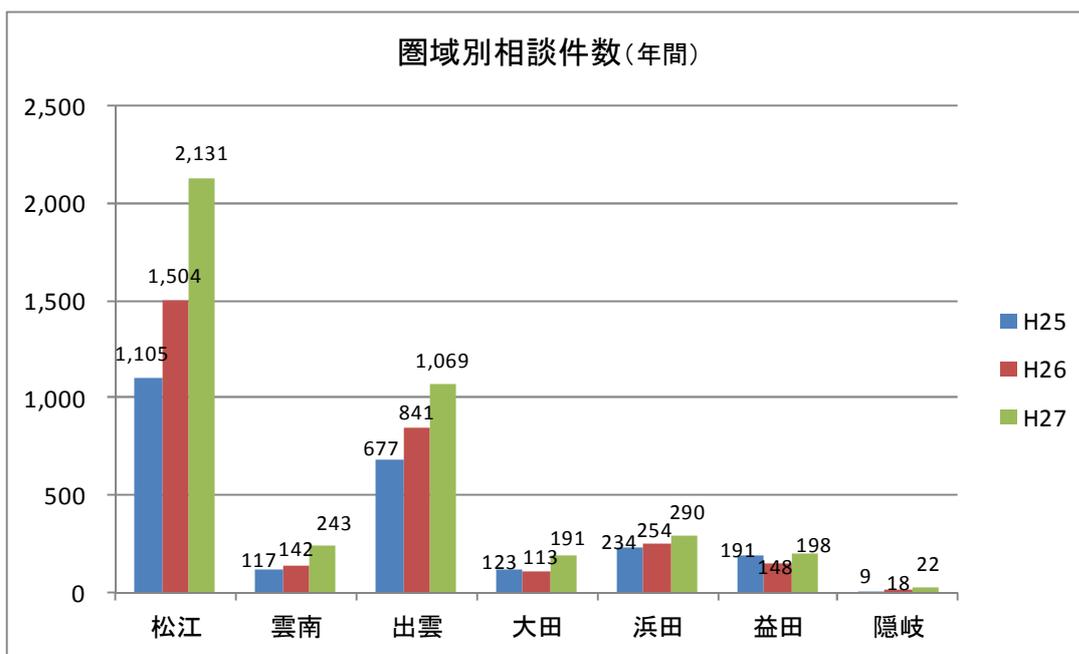
(単位:件)

圏域名	H25年度	H26年度	H27年度												累計
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
松江圏	1,105	1,504	155	155	123	132	145	164	151	206	201	226	237	236	2,131
雲南圏	117	142	16	18	12	11	22	23	19	19	28	28	27	20	243
出雲圏	677	841	60	87	60	81	67	69	66	102	103	110	124	140	1,069
大田圏	123	113	13	9	3	11	11	14	10	24	37	21	16	22	191
浜田圏	234	254	18	22	12	20	20	30	12	31	28	31	24	42	290
益田圏	191	148	17	13	11	18	10	16	6	26	28	20	14	19	198
隠岐圏	9	18	0	2	0	0	1	0	1	7	3	5	2	1	22
その他、不明	35	41	1	1	4	3	2	6	4	11	3	2	1	4	42
計	2,491	3,061	280	307	225	276	278	322	269	426	431	443	445	484	4,186

年間比較

	H25年度	H26年度	H27年度	H25→H27 伸び率
松江	1,105	1,504	2,131	1.93
雲南	117	142	243	2.08
出雲	677	841	1,069	1.58
大田	123	113	191	1.55
浜田	234	254	290	1.24
益田	191	148	198	1.04
隠岐	9	18	22	2.44
合計	2,456	3,020	4,144	1.69

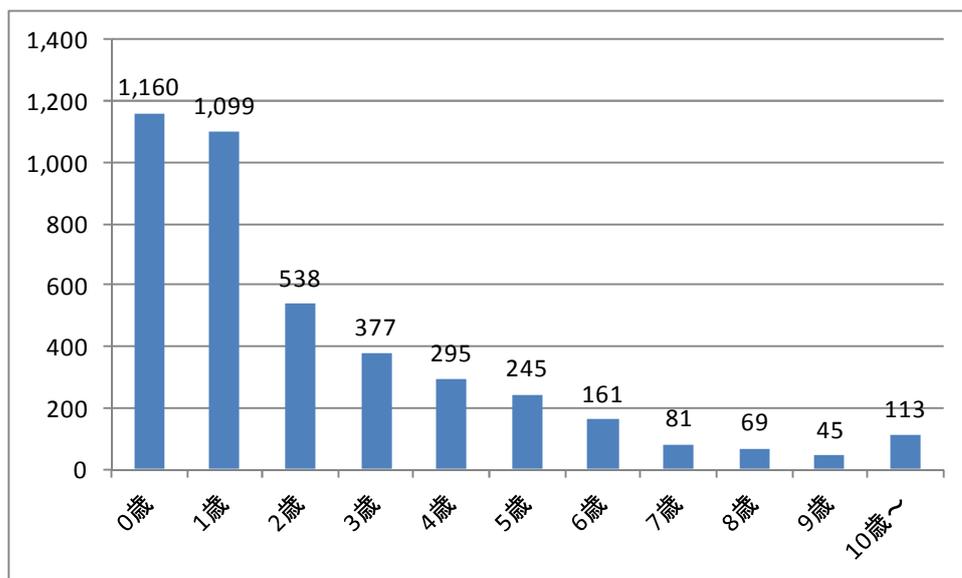
(注) その他、不明は除く



(注) その他、不明は除く

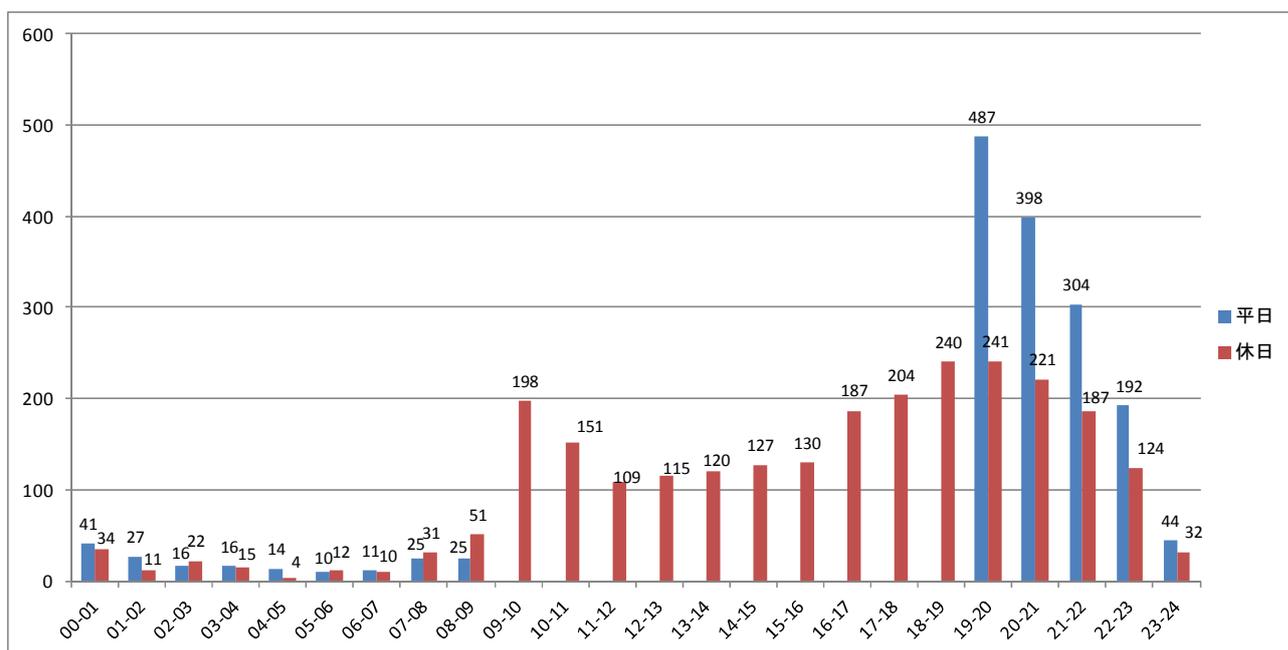
○大きく伸びている圏域がある一方、隠岐圏域では伸びていない。

4 年齢別相談件数（平成27年4月～平成28年3月）



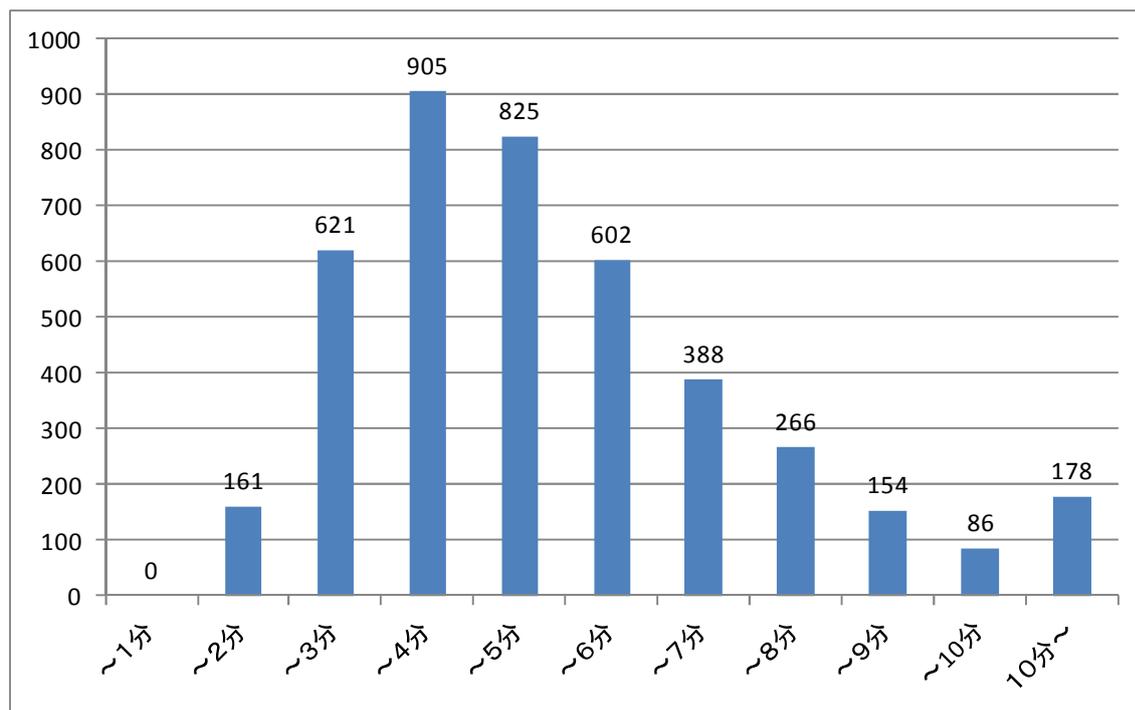
○0～1歳児の相談が約5割を占めている。（4,183件中2,259件）

5 時間帯別相談件数（平成27年4月～平成28年3月）



○平日、休日とも19時から20時の相談が多い。また、休日は9時から10時の相談も多い。

6 相談時間（平成27年4月～平成28年3月）



○2分から6分での相談が多い。（平均相談時間4分31秒）

7 相談者（平成27年4月～平成28年3月）

相談者	件数	割合
父	471	11.3%
母	3,692	88.2%
祖父母	16	0.4%
親戚	4	0.1%
その他	3	0.1%
合計	4,186	100%

年代	件数	割合
10代	0	0.0%
20代	786	18.8%
30代	3,164	75.6%
40代	218	5.2%
50代	8	0.2%
60代以上	10	0.2%
不明	0	0.0%
合計	4,186	100%

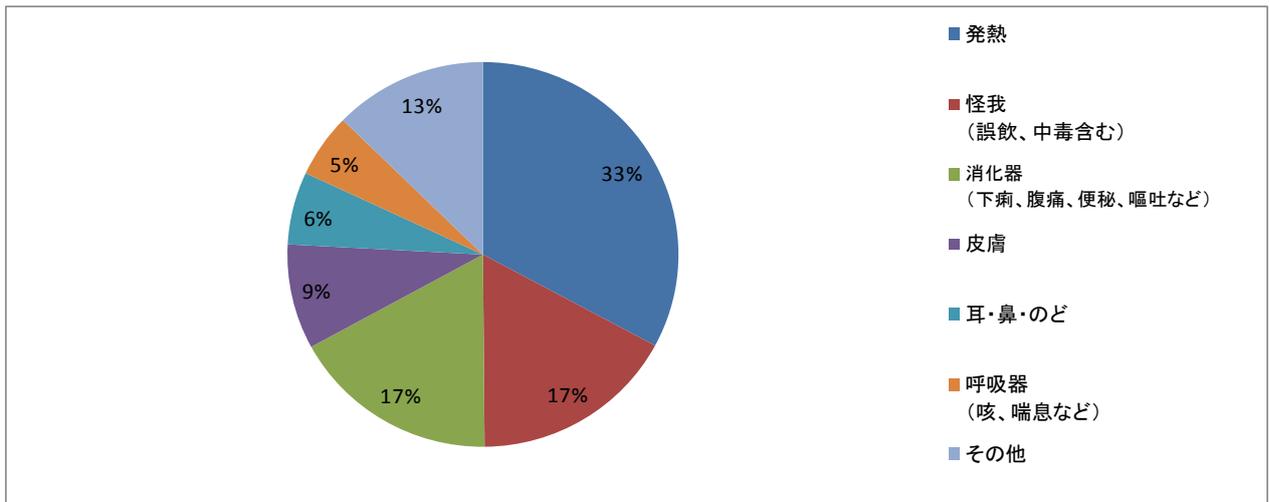
相談内容

1 相談内容別（平成27年4月～平成28年3月）

（単位：件）

	発熱	怪我 (誤飲、中毒含む)	消化器 (下痢、腹痛、便秘、嘔吐など)	皮膚	耳・鼻・のど	呼吸器 (咳、喘息など)	その他	計
相談件数	1,375	712	719	369	255	225	531	4,186

（注）その他には育児、健診等を含む。



○発熱に関する相談が多く、続いて怪我、消化器に関する相談が多い。

2 医療機関案内（平成27年4月～平成28年3月）

（単位：件）

	H27年度												累計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
相談件数	280	307	225	276	278	322	269	426	431	443	445	484	4,186
医療機関案内	47	84	49	69	81	101	66	109	104	119	98	127	1,054
割合	16.8%	27.4%	21.8%	25.0%	29.1%	31.4%	24.5%	25.6%	24.1%	26.9%	22.0%	26.2%	25.2%

対応事例（平成27年4月～平成28年3月）

<怪我（誤飲・中毒を含む）>

Q：30分前、転倒して頭を打った。すぐ泣き、その後1分程四肢硬直があった。今は意識が戻り、普通に過ごしているが受診か。（4歳 男児）

A：脳しんとうの可能性もあるが、四肢硬直と意識のない時間があったので、脳外科を受診し相談するように助言。（医師対応）

Q：2週間ほど前に顔を切り、皮膚科を受診している。処方されたネオメドロールEE軟膏について、いつまで塗布すればいいのか知りたい。（4歳 女児）

A：経過が長いので、明日以降形成外科を受診して確認を。（相談員対応）

<発熱>

Q：今までに熱性けいれんを2回おこした。2日前の夕方に発熱に気づきダイアアップ使用。その後解熱したため使用せず。今38.2℃あるがダイアアップ再使用か。（2歳 男児）

A：熱性けいれんの既往が2回と少ないため、今はダイアアップ使用せず様子を見ることも可。再度けいれんがおこったらダイアアップ使用を勧める。（医師対応）

Q：6日前に溶連菌感染症の熱で、ダイアアップを2回使用した。先ほどから38.3℃の熱がある。ダイアアップを使用してよいか。（4歳 男児）

A：けいれんが起きたらダイアアップを挿入してよい。（医師対応）

Q：3日前に熱性痙攣を起こしダイアアップを1回使用した。すぐに解熱したのでその後ダイアアップは使っていない。今、また熱がでてきたのでダイアアップを使用してもよいか。（1歳7か月 男児）

A：1週間に2回程度なら使用してもよい。痙攣が心配であれば使用を。（医師対応）

<消化器（下痢・腹痛・嘔吐・便秘など）>

Q：普段から夜尿症の薬を内服している。便が緩いため、市販の整腸剤と胃腸薬を飲みたいが、飲み合わせは大丈夫か。（10歳 女児）

A：一般的な薬の使い方について説明。飲み合わせは特に問題ない。（相談員対応）

Q：7時間前、黒色便と血が混じった唾液が見られた。受診をしたが、黒色便が続いている。特に変わった様子はないが、このまま様子を見てもよいか。（0か月 女児）

A：変わった様子がないければ、便を持って週明けに受診を。（医師対応）

Q：卵白アレルギーがある。気づかずに食べてしまい5分前に嘔吐したが、嘔吐後は元気に夕食を食べ始めた。このまま様子を見てもよいか。（1歳7か月 女児）

A：嘔吐をしたということは、今は元気な様子でも、アレルギーの症状が重いと考えられる。後から症状

がぶり返すことがあるため、すぐに受診を。(医師対応)

Q: 右鼠径ヘルニアと診断。2日ほど前より、ヘルニアが脱出して戻りにくい。痛みはなく今は眠っているが、このまま様子を見てよいか。(3歳 男児)

A: 今はヘルニアが出ている状態でも、痛みはなく寝ているなら様子見を。ねじれて発赤する、痛みが強くなった場合は、救急受診を。(医師対応)

<神経症状(痙攣・てんかんを含む)>

Q: 知的障害で、てんかんの既往がある。2時間30分前にてんかんの発作があり、ダイアップを使用した。夕食後に内服するてんかんの薬は、通常通りでよいのか相談したい。(12歳 男児)

A: 通常通り内服可能だが、眠気が強くでるようなら受診を。(医師対応)

<耳・鼻・のど>

Q: 鼻に噛んだガムを入れてしまった。外側の糖質が溶けて、ネバネバして鼻にくっついている状態。受診か。(4歳 男児)

A: 球体ではないため、喉に落ちる危険性はないが、糖質を含むものは粘膜浮腫を起こすため、応急処置として吸引除去できるところに受診を。(相談員対応)

<眼>

Q: リドメックスとプロペトの混合剤を塗った手で眼をこすり、その後から痛そうにしている。様子を見ていればよいか。(1歳4か月 女児)

A: 弱いステロイドなのであまり大きな問題になるとは考えにくい。涙が出て異物を出そうとするが、観察して心配なら受診を。(医師対応)

<その他>

Q: 気管支炎で処方された3種類の薬のなかで、夜寝る前に服用という指示になっている薬を、間違えて今朝飲ませてしまった。今晚はその薬は飲ませなくてよいか。(3歳 男児)

A: 1日1回の薬なので、今晚は与薬せず、明日の夜に与薬を。(医師対応)

Q: 5分ほど前、兄のアレグラドライシロップ5パーセント0.6gを間違えて飲んだ。他に去痰薬、気管支拡張剤、抗アレルギー剤を内服中だが、どう対応か。(1歳1か月 女児)

A: 1回分のため、まずは様子見を。吐き気、嘔吐、発疹、機嫌悪いなどあれば、受診を。症状が落ち着いているようであれば、翌朝分の服用はスキップを。(医師対応)

Q: ロゼレム、オキシブチニン、ミニリンメルトを内服中。今、頭痛があるがカロナールを内服しても大丈夫か。(10歳 女児)

- A: カロナールとの飲み合わせは問題ないので、服薬しても大丈夫。また頭痛が続くようなら、かかりつけ医に相談してみるように。(医師対応)
- Q: 小児科で処方された夜尿症の薬と、本日眼科で処方された抗生剤を併用してよいか。(10歳 女児)
- A: 一般的には問題がないことを伝える。(相談員対応)
- Q: 甲状腺機能低下症で、チラージン 0.01%0.2g1包を毎日夜に内服している。本日、5分前に誤って2包内服してしまった。どう対応か。(4歳 男児)
- A: 1年以上継続して内服していれば、血中濃度は保たれているので特に問題はないため、このまま様子見を。(医師対応)
- Q: 10分ほど前に市販の風邪薬を本来の量の8倍ほど飲んでしまった。すぐに嘔吐したが、受診か。(4歳 男児)
- A: アセトアミノフェンの量が少し多い。経過観察になる可能性は高いが、受診を。(医師対応)
- Q: 15分前に、母親の甲状腺の治療薬を半錠飲んだ。変わった様子はないが、どのように対応か。(1歳10か月 男児)
- A: 甲状腺の薬なので受診を。(医師対応)
- Q: 兄弟の内服薬レニベース 0.5mgを内服させてしまった。今症状はないが対応は。(10か月 男児)
- A: レニベース 0.5mgは緩やかな降圧剤なので、このまま様子見を。副作用の咳、喉の違和感、めまい、発疹などに留意し、水分を多めに摂取するように。(医師対応)
- Q: 昨日1日2回のツロブテロールを、間違えて3回内服させてしまった。今日の朝分も内服させた。5分前に震えがでているが、対応は。(7か月 男児)
- A: 夜の内服は休薬して、明日受診し相談を。(医師対応)
- Q: 2分前に、ロキソニン錠 60mgを1錠なめていた。錠剤の周囲がふやけている程度。どう対応か。(1歳5か月 女児)
- A: 体重換算すると、半錠分が1日量になるので、量は問題ではない。この後の消化器症状など、変化がないか注意深く観察を。変化があれば受診を。(医師対応)
- Q: 姉の薬を誤って飲ませた。どう対応か。(2歳 男児)
- A: 水分を十分に取らせながら様子を見て、ぐったりするなどの症状があればすぐ受診を。(医師対応)
- Q: 処方されている去痰剤、鎮咳剤を内服後、5分ほど前に間違えて兄の抗アレルギー剤、去痰剤を内服した。すぐに気づいて半分ほどは取り出したが、どう対処か。(8か月 男児)
- A: 恐らく、大きな問題にはならない量であるため、水分を多めに摂り様子見を。翌朝1回分の内服は中止するように。(医師対応)

- Q: 本日、午前中にインフルエンザとの診断で、タミフルが処方された。昼に内服したところ、20 分後に嘔吐した。今も内服直後に嘔吐したが、再度飲ませたほうがよいか。(5 歳 女児)
- A: 飲みにくい薬のため、少量の水で練って好きな飲み物で再度内服を。それでも嘔吐するようなら、翌日受診し相談を。(医師対応)